

夏は基礎の徹底とレベルアップ

茗溪塾塾長 長谷誠基

6月19日には小6受験コースと公立一貫校受検コースの合同特訓、26日には高校生・既卒生の合同特訓が行われました。小6受験コースでは入試までの読解力アップの決め手となる「国語実戦」が導入されました。「国語実戦」は全部で100題あり、入試問題から厳選した問題で構成されています。毎年後半まで進めた生徒から「入試で同じ問題が出た。」という声が聞かれます。入試までの期間を逆算して、ペースを決めて取り組んでほしいと思います。また、公立一貫校受検コースでは「資料読み取り100選」がスタートしました。公立一貫校の適性検査では必ずグラフや表を読み取る問題が出題されています。そのときに重要なのは「主観」を持たないことです。資料の中の変化を「客観的」にとらえ記述していかないと、条件に合わなくなり減点されてしまうこともあります。それを防ぎ確実に得点するための練習をしていきましょう。生徒たちは特訓が終わってもそれぞれの教室で頑張っていて、すでに3冊目に入った生徒もいるようです。読み取る力は「一朝一夕」にはつきません。継続して進めていきましょう。高校生の特訓でも、共通テストに向けての学習や小論文、志望校別の強化学習など充実した内容に集中して取り組んでいたようです。ここで得たやる気を継続して夏の学習につなげてほしいと思います。

間もなく学習面で大きな意味を持つ夏期講習が始まります。どの学年でもまとまった学習時間が取れる夏休みは重要です。まずこれまでに学習した内容の総復習をし、定着していなかった部分の演習を行う。また、学習した内容を演習の難易度を上げ、レベルアップさせる。この2つが大きなテーマになります。小4受験クラスでは分数計算を習います。定着させるためにはかなり練習が必要だと思いますが、秋以降に学習する割合や速さに不可欠な内容です。小5受験クラスでは「比」を学習します。今まで分数で扱っていた数値を整数で表すことが可能になり、応用が一気に広がります。ピラミッド&TTC コースでも2学期の内容を見ておくことで今後の学習がスムーズに進められます。中1・2生は1学期の学習内容をここで整理しておいてください。9月に定期試験がある場合8月の後半は、試験対策を意識しながら学校のワークを進めておくといいでしょう。9月に試験がない場合も1学期の学習したものは2学期の学習と関連性の高いものが多いので、必ず身につけておいてほしいと思います。

長いと思っていた夏休みがいつの間にか終わっていて、後悔しないためにも塾の夏期講習を利用し、計画的な学習を進めてください。